

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場取引所 東大

上場会社名 ハリマ化成株式会社

コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 金城 照夫

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,434	△21.0	532	△14.9	610	△3.8	230	△28.6
21年3月期第2四半期	19,525	—	625	—	634	—	323	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	8.89	—
21年3月期第2四半期	12.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	44,990	27,553	59.3	1,027.24
21年3月期	44,818	27,179	58.6	1,012.17

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 26,661百万円 21年3月期 26,271百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	△8.0	1,300	147.9	1,400	263.4	700	—	26.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	26,080,396株	21年3月期	26,080,396株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	126,213株	21年3月期	124,813株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	25,954,933株	21年3月期第2四半期	25,961,491株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年度後半から急速に悪化した景気に、生産・輸出の持ち直しにより、一部では回復の兆しが見られましたが、急激な円高の進行による企業収益への影響が懸念され、さらに雇用や賃金の環境が一段と厳しさを増す中で個人消費の低迷が続き、景気は先行き不透明な状況が続いております。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は154億3千4百万円となり、前年同期に比べ40億9千1百万円(△21.0%)の減収となりました。

利益面では、原価低減や経費削減等による収益確保を最重要課題として取り組んでまいりましたが、世界的な景気減速の影響を受け、厳しい結果となりました。

その結果、営業利益は5億3千2百万円で前年同期に比べ9千3百万円(△14.9%)の減益となり、経常利益は6億1千万円で前年同期に比べ2千4百万円(△3.8%)の減益となりました。

## (樹脂化成品事業)

当第2四半期連結累計期間の塗料業界は、徐々に需要が回復しつつありますが、販売数量は回復に至らず、前年同期比減となりました。

印刷インキ業界では、商業印刷、新聞印刷とも低調な状況であり、輸出向けも需要回復に至らず厳しい状況が続いております。

合成ゴム業界も、一部では生産調整を継続しており、前年同期並みの状況でした。回復は下期以降の見込みであります。

このような環境下、当事業においては販売数量が伸びず厳しい状況で推移しましたが、経費削減、原材料費の低下に鋭意取り組みました。

当部門の売上高は85億5千9百万円で、前年同期に比べ18億1千2百万円(△17.5%)の減収となりました。営業利益は9億8千8百万円と前年同期に比べ1億6千9百万円(20.6%)の増益となりました。

## (製紙用薬品事業)

国内の製紙業界は、引き続き昨年来の世界的景気低迷の影響を受けており、当期間中の紙・板紙の国内出荷量は、連続して前年同月実績を割り込む状態が続いております。また、紙製品の輸出も低調で、さらに円高に起因する安価な塗工紙等の輸入が増加しており、国内製紙メーカー各社では減産、在庫調整を余儀なくされ、依然として厳しい状況が続いております。

中国においては、紙・板紙の需要回復の兆しは見られますが、輸出用の梱包材に使用される高級グレードの板紙の生産が少なく、伸びは期待できない状況です。

このような環境下、当事業においては経費削減や収益改善に鋭意取り組みましたが、販売数量が伸びず厳しい状況で推移しました。

当部門の売上高は53億9千4百万円で、前年同期に比べ13億5千9百万円(△20.1%)の減収となりました。営業利益は3億8千7百万円と前年同期に比べ1億3千9百万円(△26.5%)の減益となりました。

## (電子材料事業)

当部門が関連する自動車業界と電機業界の動向は、エコカー減税及びエコポイントなどの施策により、需要回復の兆しが見えてまいりました。しかし、来期以降の景気動向が不透明であることや、円高基調により予断は許されない状況にあります。

このような環境下、当事業においては経費削減や収益改善に鋭意取り組みましたが、好調であった前年同期に比べ販売数量が伸びず厳しい状況で推移しました。

当部門の売上高は13億4千6百万円で、前年同期に比べ9億2千1百万円(△40.6%)の減収となりました。営業利益は5千6百万円と前年同期に比べ1億2千7百万円(△69.5%)の減益となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は前期末に比べ1億7千2百万円増加しました。自己資本比率は59.3%となりました。増減の主なものは、流動資産では売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が4億6千5百万円増加し、固定資産では市場価格回復の影響もあり投資有価証券が3億2千9百万円増加しております。流動負債では原材料仕入が減少したため支払手形及び買掛金が4億4千6百万円減少しており、連結子会社の運転資金の現地借入により短期借入金が増加しております。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、世界経済は一部に回復の動きが見られますものの、なお深刻な状況が続いており、国内におきましても、雇用情勢の悪化や円高の影響が懸念されるなど、先行き厳しい状況が予想されます。

このような状況を踏まえ、バイオマス資源であるロジンの環境対応商品としての機能性を追求し、独創的な発想と先進的な技術開発で新たな用途開発に注力いたします。さらに、本年4月には、株式会社理化ファインテックより全営業権を譲受け、ロジン系粘接着付与剤分野の更なる強化を図り、本年10月に、株式会社日本フィラーメタルズの全株式を取得してはんだ事業の領域拡大と商品開発力を一層強化するとともに、さらに、本年12月に予定しています日立化成ポリマー株式会社のロジン変性樹脂事業の譲受けにより印刷インキ向けロジン変性樹脂分野の更なる拡大と強化を図るなど、グループ全体で、高収益・高成長分野への事業の選択と集中を促進します。

なお、当期（平成21年4月1日から平成22年3月31日）の通期の業績予想につきましては、平成21年11月2日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました数値を修正しておりません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

##### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「為替差益」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「為替差益」は8,916千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,930,907	3,965,094
受取手形及び売掛金	10,639,795	10,174,599
商品及び製品	2,026,334	2,248,206
原材料及び貯蔵品	2,935,046	3,016,743
その他	1,130,430	1,062,012
貸倒引当金	△60,578	△33,878
流動資産合計	20,601,936	20,432,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,137,832	5,052,369
土地	8,399,971	8,053,617
その他（純額）	3,469,008	3,876,581
有形固定資産合計	17,006,812	16,982,568
無形固定資産	899,391	923,952
投資その他の資産		
投資有価証券	4,729,171	4,399,380
その他	1,779,727	2,105,621
貸倒引当金	△26,137	△26,137
投資その他の資産合計	6,482,762	6,478,864
固定資産合計	24,388,965	24,385,385
資産合計	44,990,902	44,818,164

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,168,854	4,615,132
短期借入金	7,026,402	6,922,503
1年内返済予定の長期借入金	510,481	532,968
未払法人税等	117,065	91,585
その他	1,387,564	1,438,987
流動負債合計	13,210,367	13,601,177
固定負債		
長期借入金	1,464,392	1,393,826
退職給付引当金	625,050	539,890
役員退職慰労引当金	332,260	336,070
長期預り保証金	1,206,365	1,233,553
その他	599,172	533,966
固定負債合計	4,227,241	4,037,306
負債合計	17,437,608	17,638,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	7,676,361	7,601,297
自己株式	△59,421	△58,843
株主資本合計	27,374,270	27,299,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△67,694	△385,114
繰延ヘッジ損益	—	874
為替換算調整勘定	△645,337	△644,077
評価・換算差額等合計	△713,031	△1,028,317
少数株主持分	892,054	908,213
純資産合計	27,553,293	27,179,680
負債純資産合計	44,990,902	44,818,164

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	19,525,623	15,434,486
売上原価	15,366,424	11,725,090
売上総利益	4,159,198	3,709,396
販売費及び一般管理費	3,533,212	3,176,784
営業利益	625,986	532,612
営業外収益		
受取利息	16,845	15,610
受取配当金	32,813	19,182
不動産賃貸料	65,889	69,028
為替差益	—	44,728
その他	116,353	68,929
営業外収益合計	231,901	217,480
営業外費用		
支払利息	131,271	111,865
その他	92,354	28,005
営業外費用合計	223,626	139,871
経常利益	634,261	610,221
特別利益		
投資有価証券売却益	60,349	—
事業譲渡益	—	20,000
特別利益合計	60,349	20,000
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	13,900
固定資産除却損	—	15,756
減損損失	—	18,245
特別損失合計	—	47,901
税金等調整前四半期純利益	694,611	582,320
法人税、住民税及び事業税	90,677	86,253
法人税等調整額	188,869	279,163
法人税等合計	279,547	365,417
少数株主利益又は少数株主損失(△)	91,804	△13,894
四半期純利益	323,259	230,797

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	694,611	582,320
減価償却費	743,317	813,198
減損損失	—	18,245
のれん償却額	496	10,017
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,497	22,284
受取利息及び受取配当金	△49,742	△34,793
支払利息	131,271	111,865
為替差損益(△は益)	△4,334	△18,556
持分法による投資損益(△は益)	△22,216	△20,322
有形固定資産売却損益(△は益)	466	△1,088
事業譲渡損益(△は益)	—	△20,000
売上債権の増減額(△は増加)	△1,259,292	△370,464
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,546	379,221
仕入債務の増減額(△は減少)	273,366	△491,640
その他	105,410	161,474
小計	708,396	1,141,763
利息及び配当金の受取額	63,210	41,525
利息の支払額	△138,691	△116,519
法人税等の支払額	△81,037	△62,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	551,878	1,003,814
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△713,244	△816,639
有形固定資産の売却による収入	14,171	21,547
投資有価証券の取得による支出	△122,350	△302,074
投資有価証券の売却による収入	168,086	354,692
貸付けによる支出	△57,000	△800
貸付金の回収による収入	35,485	10,582
事業譲渡による収入	—	20,000
その他	△20,560	△36,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△695,412	△748,825
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	484,719	△93,205
長期借入れによる収入	—	311,531
長期借入金の返済による支出	△257,214	△301,399
配当金の支払額	△311,544	△155,733
少数株主への配当金の支払額	△48,335	△35,671
会員預り金の返還による支出	△64,314	△27,188
その他	△897	△16,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,585	△318,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,381	29,102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△354,500	△34,417
現金及び現金同等物の期首残高	3,030,656	3,960,961
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,676,156	3,926,543



## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	樹脂化成品 事業 (千円)	製紙用薬品 事業 (千円)	電子材料 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,372,055	6,754,537	2,268,429	130,600	19,525,623	—	19,525,623
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	10,372,055	6,754,537	2,268,429	130,600	19,525,623	(—)	19,525,623
営業利益(又は営業損失△)	819,417	527,354	183,720	△42,534	1,487,956	(861,970)	625,986

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	樹脂化成品 事業 (千円)	製紙用薬品 事業 (千円)	電子材料 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,559,377	5,394,920	1,346,580	133,608	15,434,486	—	15,434,486
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	8,559,377	5,394,920	1,346,580	133,608	15,434,486	(—)	15,434,486
営業利益(又は営業損失△)	988,554	387,733	56,032	△14,056	1,418,265	(885,652)	532,612

(注) ・事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業名称

(1) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

(2) 各事業の主な製品

①樹脂化成品事業……………塗料用樹脂・印刷インキ用樹脂・トール油製品・合成ゴム乳化剤

②製紙用薬品事業……………紙力増強剤・サイズ剤・表面塗工剤

③電子材料事業……………電子材料

④その他事業……………不動産管理事業等

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	南北 アメリカ (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,977,027	1,902,373	1,632,378	13,843	19,525,623	—	19,525,623
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	400,560	93,560	393,925	—	888,046	(888,046)	—
計	16,377,588	1,995,933	2,026,303	13,843	20,413,669	(888,046)	19,525,623
営業利益(又は営業損失△)	1,409,166	85,483	212,615	△75,464	1,631,799	(1,005,812)	625,986

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	南北 アメリカ (千円)	アジア (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,970,925	1,608,333	815,704	39,523	15,434,486	—	15,434,486
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	267,976	70,084	301,038	—	639,099	(639,099)	—
計	13,238,901	1,678,417	1,116,743	39,523	16,073,586	(639,099)	15,434,486
営業利益(又は営業損失△)	1,323,637	△62,531	144,600	△12,385	1,393,321	(860,709)	532,612

- (注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。  
2 本邦以外の区分に属する主な国または地域  
(1) 南北アメリカ……………米国・ブラジル  
(2) アジア ……………中国・マレーシア  
(3) その他 ……………欧州他

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	南北アメリカ	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	1,986,758	2,086,783	13,843	4,087,386
II 連結売上高(千円)				19,525,623
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.1	10.7	0.1	20.9

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	南北アメリカ	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	1,614,542	1,070,254	52,568	2,737,366
II 連結売上高(千円)				15,434,486
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.5	6.9	0.3	17.7

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 南北アメリカ……………米国・ブラジル
- (2) アジア……………中国・マレーシア
- (3) その他……………欧州他

## (6) 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

平成22年3月期 第2四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	21/3期		22/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
連結	7.2億円	22.4億円	6.5億円	15.0億円

2. 減価償却実施額

	21/3期		22/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
連結	7.4億円	15.9億円	8.1億円	16.0億円

3. セグメント別売上高

	21/3期		22/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	103.7億円	189.0億円	85.5億円	174.0億円
製紙用薬品	67.5億円	124.6億円	53.9億円	112.0億円
電子材料	22.6億円	36.8億円	13.4億円	37.0億円
その他	1.3億円	2.7億円	1.3億円	2.0億円
合計	195.2億円	353.2億円	154.3億円	325.0億円